



第3号

石川モンゴル親善協会事務局
〒920-8602 石川県金沢市御所町丑10-1
金沢星稜大学 沢田勲 気付
TEL 090-9449-4323
Fax 076-223-1057

2011年度総会開かれる

6月4日(土)午後5時より白鳥路ホテルに於いて「総会」及び「懇親会」が開かれた。当日はあいにく「百万石まつり」と重なり、都合の悪かった人もいたようだが、20名ほどの出席者がいた。議案書にもとづき、2010年度の事業報告、2011年度の事業計画を藤木事務局長が、2010年度の会計報告、2011年度の予算計画を渡辺理事がそれぞれ報告した。役員の一部改選についても承認された。

その後、懇親会にうつり、モンゴル留学生による「ナーダム」の紹介、モンゴルについての質問、モンゴルの歌の合唱など、会場はおおいに盛り上がった。日本側の会員たちもそれぞれの持ち歌を披露して、お互いの親睦、交流を深めた。

<2010年度後半の事業より>

ゲルパーティー

2010年11月23日(日)湖南水辺公園で「自然再生まつり」が行われ、石川モンゴル親善協会も参加、当日はゲルも建てられた。

あいにく強風の吹きつける寒い日であったのと、地理的条件もあったのか、会員の参加は少なかったが、子供たちを含め、かなりの来場者でにぎわった。

モンゴルのトンガさんノミオンさんも参加、暖かいゲルの中でモンゴルのチェスをしたり、文化について説明をしたりした。



忘年会 懇親会



2010年12月9日(木)午後6時30分より「白鳥路ホテル」において忘年会が行われた。アトラクションとして珠洲市三崎町翠雲寺住職岩尾照尚氏による馬頭琴の演奏が行われた。留学生によるモンゴルの紹介モンゴルの歌の合唱などもあった。持ち寄ったプレゼントを前に、ビンゴゲームを楽しんだりして、楽しいひとときを過ごした。

モンゴル研究会「モンゴルの自然」

2011年3月6日(日)午後1時30分よりNPO活動支援センター会議室「あいむ」に於いて、本会理事の大串龍一氏(金沢大学名誉教授)による講演が行われた。

低温で、冬に雨が降り、夏の成長期に乾燥するという自然環境の中で生きる動植物の生態系などの特徴を話された。

随筆 モンゴルの大草原

沢田 勲



在日モンゴル大使館によると、7月24日に、モンゴルの大草原でマラソン大会が開かれるようです。この大会は、首都ウランバートル市がモンゴル陸

上競技連盟との共同主催で、毎年夏に開催されるもので、今年で15回目を迎えます。今回は、「東日本大震災」で被害にあわれた方を元気づけようとして、「草原で心を休めよう」をテーマに、岩手・宮城・福島の実災者9人を招待するものであります。青々としたモンゴルの草原を走り抜けば、被災者の方々もきっと元気づけられることでしょう。

モンゴル国は、国土の8割が草原で、遊牧民の牧草地として利用されています。国連の統計によると、モンゴルでは1950年から約200万ヘクタールにおよぶ草原が減少したと報告されています。同時に、800の河川と約1000の湖沼が消えたとも伝えられています。とりわけここ20年の間に、いくつかの森林や湖沼が消滅して、周辺住民はウランバートルなどの都市に移住を余儀なくされています。それゆえ、モンゴル国では全土の約4割の人が、首都ウランバートルに集中しています。首都への集中化は様々な要因がありますが、その主なものは、温暖化現象と銅やモリブデンなどの鉱物資源の採掘などの環境汚染によって、「草原」や森林が痩せ始めたためであると言われています。このような環境の劣悪化は、モンゴル国民の間で呼吸器系の疾患に侵される患者が多く出て、亡くなる人も増えていると伝えられています。

石川モンゴル親善協会は、設立して3年を経過しました。毎年、モンゴル料理の講習会やゲル生活の体験などを企画して、モンゴル文化に親しんできましたが、最近では、モンゴルの自然や歴史を勉強する会も開いております。モンゴル人は極めて親日的な人々です。今回の「東日本大震災」の時も、心温まる支援を日本にしてくれました。今後も、日本・モンゴル両国の親善を深めることは、ますます大切になっていくでしょう。

私たち日本人は、モンゴルの人々を「草原の民」と表現します。もちろん、「草原」という言葉は日本人による造語ではありますが、こうしたモンゴルを代表する「草原」が失われ、遊牧民が姿を消していくことは、大変悲しいことでもあります。今回のマラソン大会のテーマにもあるように、モンゴル人だけでなく我々日本人にも、「草原」がいつまでも心のやすらぎであるように、モンゴル草原の現状を多くの人々に語り伝えることも、私たちの役割であろうと思います。

モンゴルの家族たち

渡辺 勝美・由美子

私たちのモンゴル人たちとの出会いは、平成3年ある人の紹介でモンゴルのプロ歌手ハスバートルのホームステイを受けたことからでした。彼の歌うホーミーや馬頭琴の演奏に、モンゴル大草原に息づく音の芸術に陶醉し、大変感激しました。この素晴らしい音楽を一人でも多くの方に聞いてもらいたくて、会社や自宅でミニコンサートを開催しました。

その後平成15年妻がソロプチミストの留学生との交流会で金沢大学に留学していたボルさんと知り合い、ご主人のアルマさん中学1年生のガルフ君や小学生ガルバトラフ君一家との交流が始まりました。ご主人の仕事を探し、アパートの転居、入国管理局への手続き等々、日常のふれ合いを通じてお互いの信頼関係も深まり、川北町の花火大会、内灘への海水浴、新年会等楽しい思い出ばかりでした。平成18年ボルさんと子供たちは帰国、ご主人は金沢の会社のモンゴル支店長として活躍、ウランバートルのデパートで日本製品のお店をしています。

平成20年から石川モンゴル親善協会のパーティーにも出席されたことのある、ナツガバヤルさん家族とのふれ合いも忘れ難い思い出です。年末にご主人子供3人が金沢に来て一緒に住むという急な話から、アパート探し、契約、家財道具すべて（何から何まで）の調達、協会の皆様のご協力本当にありがとうございました。お正月を過ぎてすぐに保育園、小学校、中学校入学の手続きに奔走、少し落ち着いたと思ったら、学校でのいじめ、ご主人の交通事故と示談交渉、動物園や海水浴会社のお祭り花火大会に行った時の子供たちの笑顔、たくさんの思い出をありがとうございます。私たちの娘と同年代という事もあり、実の娘家族と同じ気持ちで接してきましたので、昨年の夏モンゴルに帰国してしまいましたが、本当に寂しいで気持ちいっぱいです。でもモンゴルに私たちの娘や孫たちが元気にいてくれると大変うれしいです。3月11日東日本大震災のニュースを見て、子供たちから電話があり、みんな心配をしてくれてとても驚きました。いつかみんなに会える日を楽しみにしています。もっともっと家族を増やしていきたいと思っています。



2010年
ナツガさん
ファミリーと
新年会

こんな記事発見！

被災者に羊あげたい

モンゴルの首都ウランバートルから約50キロ南の中央県ゾンモド郊外。草原が地平線に続いていた。

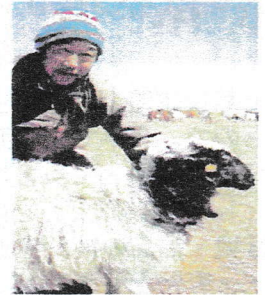
「モンゴルでは困っている人には羊をあげるもんなんだよ。「気持ち」を日本人に届けようと思った」約1000頭の羊や山羊を追い立てていた遊牧民のガンバートルさん(50)は一匹を抱き上げて言った。

1990年代、最大の援助国家だったソ連が崩壊。代って日本が累計12億ドルの援助をしてきたことを多くの国民が知る。遊牧民たちの現金収入は多くない。ただ、羊を日本に送るわけにもいかず、申し出を受けた赤十字は困っている。

震災翌日、エルベグドルジ大統領は「日本に援助をしなければならない。全国民がそのために努力を」と呼びかけた。全公務員は一日分の給与を寄付に充てることも求められた。NGOなどの間でも「純粋な気持ち」という名の援助の呼びかけが始まった。数十キロを馬に乗って寄付をしに来た遊牧民もいた。

モンゴルは日本の四倍の面積に人口270万人。旅行業を営むガンバートルさん(52)は「日本の避難民は住む場所がなければ、この土地を自由に使っていきたい」と話した。

(朝日新聞:古谷浩一記者)2011年4月20日 朝日新聞より



モンゴルから届いた お見舞いメール

— 私たちはいつもあなた達といっしょです —

3月14日、ウランバートル在住のガンティグマーさんよりお見舞いメールが届いた。彼女はゴビ砂漠の旅を共にした事もあり、金沢へも来たこともある親日家

How you are there, are you OK? I am very sorrow for the happening in Japan. It is really difficult time for you. Here in Mongolia we have many activities going on how to Japanese friends. Lama's in the Temple are praying for goodness of Japanese people. Red Cross organizations collecting donation to support Japan. We organized big lantern campaign for Japan people. Please send my sorrow to all my friends there in Kanazawa, Tokyo and others. All the best and I wish to you all very good health and very successfully this very difficult time in very short period.

All your friends from Mongolia. We are always with you.

モンゴル詩翻訳の試み 中谷アンギルマ

R・チョイノム (1936-1979)

モンゴルウルス(モンゴル国)で著名な詩人。知らない人はほとんど無いといっている程の人気詩人。

幼少期から病弱な体質で、結核に冒されるなど、病気がちだった。自由奔放な性格、そして、あふれ出る詩の才能の持ち主。当時、ロシア傘下におけるモンゴル社会、体制を批判した詩を数多く残している。それ故、モンゴルポスト社会主義時代の犠牲となった詩人であり、投獄されるなど、多くの苦労を重ねた結果、若くして亡くなっている。死後、1990年代モンゴル国内民主化要求運動により、民主化の象徴として「復権」した詩人である。

1991年、私が大学一年生(内モンゴル)の時、彼の詩集が校内で販売され、それを購入して以来、私の座右の書としてきました。仕事の合間に愛読していると、日本人の同僚に何を読んでいるのと聞かれ、その内容を何とか日本語に訳して聞かせると、ぜひ日本語に訳してみたらと言われました。大好きな詩人であるが故、いつかは日本の方々に知っていただきたいと思い、訳して見ました。既に日本で愛読していることもあるようで、ネット上検索した結果「変わらぬ心」を見つけました。同載させて頂きます。どうぞ、ご意見、ご感想をお聞かせください。

赤ん坊

王子様のきらきとした冠をかぶっては無いけれど、あなたは私の王子様、我が家に生まれた王子様!

話せる言葉は四つとないけれど、

純粋なハートですべてが明瞭なのだ。

乳歯もまだ生え揃わないのに

肉でも、何でも手当たり次第口に入れる!

身体にあまる大きな頭をして

身体を起こす度にふらふら

四歩離れた隙に

よちよちと後を追うその必死な眼差し

苦労を一瞬にして吹っ飛ばしてくれる

駆けつけてはやってくれる

物壊しの名人

見えるすべてを手に取ろうとするんじゃないか

見ての通り、我が家の王子様

この家にやってきた!

この子は家内が泣き

この私が歌って呼んできたのか

さあ、どうだろう。

留学生だより Q&A

1.趣味 2.金沢・日本について 3.あなたやあなたの家族に関する最近のニュース



Ijlbayar Tolya

1. I like to play ping pong, basketball, and have shopping. Recently, I often think of having sightseeing in Japan or in other Asian countries. I am now intensively learning Japanese. I hope that I could fill this application in Japanese, next year.
2. Kanazawa is really beautiful place. I have no other comment.
3. I have been enrolled in Kanazawa



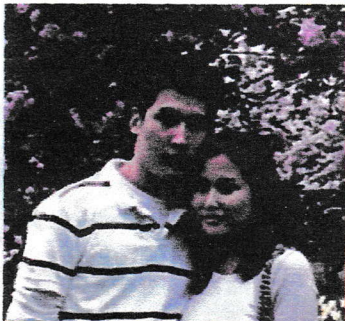
Delgerekh Nomiun

1. Reading books.
2. I love nature Kanazawa.
3. I am participating in Kanazawa Kokusai Miraijuku sponsored by Junior Chamber International Kanazawa.



Undram Chimed

1. Although I cannot do so well, I really like skiing in recent years. In coming winter, I plan to do that often here in Japan. Also I like travelling and sightseeing. Recently some Mongolian students decided to make hiking outside Kanazawa in coming July, and we are planning for that. This will be very interesting for me.
2. I think Kanazawa has really much green area, and it makes such beautiful and comfortable surroundings. I have never seen such place with so much green area and beautiful garden.
3. Recently I am planning to have the driving license. It will make our daily life easier and give us the opportunity to visit Uchinada or other places more often. I started to attend one-time-per-week Japanese class for housewives, and it helps me a bit. I try to learn Japanese by myself.



Enkhbaatar Zanabazar

1. I read much. Recently I got interested on swimming. I do it in Kakuma campus.
2. Kanazawa is very calm, endeavoring, beautiful place. Sometimes it might be really great place for artists and scientists for good new creations and findings. I wish that more foreign students come and study in Kanazawa University.
4. Recently my mom visited us. She visited the Kenrokuen Garden, and the famous Maeda family castle. She enjoyed few days here.

Baljinnyam Tuvshintugs

1. To read a novels, sightseeing and sports.
2. Japan is nice country and it is really enjoyabel that combination of the traditional culture and modern life. We are really sad that natural disaster happened in March 11 and following nuclear danger.
4. Time goes by, spending more time to study and to successfully fulfill the requirements of graduation.

Radnaa Enkhtuya

1. Reading books, sports and singing song.

Khangai Nyamdorj

1. Watch interesting movies, also sport in TV, and travelling in countryside or to other cities.
2. Kanazawa is really beautiful place. I have no other comment.
3. Now I live with my in Kanazawa. I am very happy for that. She is enrolled into Kanazawa University, and we plan everything here together.



Dulamsuren Oktyabri

1. reading book collecting aphorism playing chess and volleyball.
2. After I arrived here, the first my impression was that Kanazawa is beautiful natural and quiet city. I like Kanazawa.
3. I came to Japan on April 3, 2011. Now I am studying a japanese language. Kanji writing is very interesting and fun.

編集後記

ニュースレター第3号をお届けいたします。原稿を快くお引き受けて下さった方々、いろいろ協力して下さい下さった方々に心から御礼申し上げます。A3 1枚の紙面、企画する事は一人でも可能だし、楽しいこともあります。それに伴う諸々の仕事はなかなか。次号はより充実した紙面をめざし、より多くの人の声を反映したいと願っています。(杉原)